

高度の皮膚症状が現れたら使うおくすり

	お薬のなまえ(成分名)	使用部位	説明
抗菌薬	ミノサイクリン塩酸塩 50mg錠 【カプセル】		◆ 皮膚炎の予防および治療に使用します。 ◆ 用法：1回2錠、1日1回/朝食後 ◆ 症状が改善しても、処方された日数分のみきってください。 ◆ めまい、ふらつきなどの症状が現れることがあります。
抗アレルギー薬 ステロイド薬	ベタメゾン/ d-マレイン酸クロルフェニラミン 配合錠		◆ 全身のかゆみ・炎症を和らげます。 ◆ 用法：1回1錠、1日1回/朝食後 ◆ 眠気、めまい、ふらつきなどの症状が現れることがあります。
保湿剤	ヘパリン類似物質 ・ローション ・油性クリーム	全身	◆ 皮膚乾燥予防(保湿)のために使用します。 ◆ 特にしわのある部位、指と指の間、指先などに使用してください。 ◆ 使用回数：1日2～3回 (入浴後はできるだけ早く塗ってください) ◆ 予防が重要です。 症状がなくても処方されたその日から使用してください。
ステロイド外用薬	ヒドロコルチゾン酪酸 エステル軟膏	顔	◆ 炎症(発疹・赤いところ)を和らげます。 ◆ 使用回数：1日3～4回 ◆ 部位によってお薬の種類が異なります。 ◆ 指示がない限り、目や口のような粘膜には使用しないでください。
	クロベタゾール プロピオン酸エステル スカルプローション	頭皮	
	クロベタゾール プロピオン酸エステル 軟膏	からだ	
外用抗菌剤	ナジフロキサシン クリーム	顔	◆ にきびの様な皮疹を和らげます。 ◆ ロコイド軟膏だけではよくならない部位に使用します。 ◆ 1日2～3回 ◆ 医師から指示された部分にのみ使用してください。